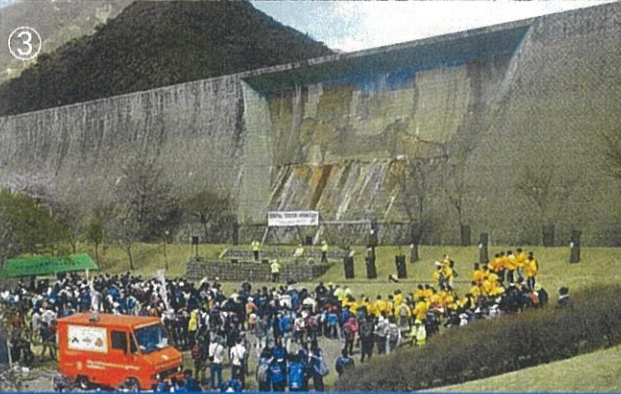
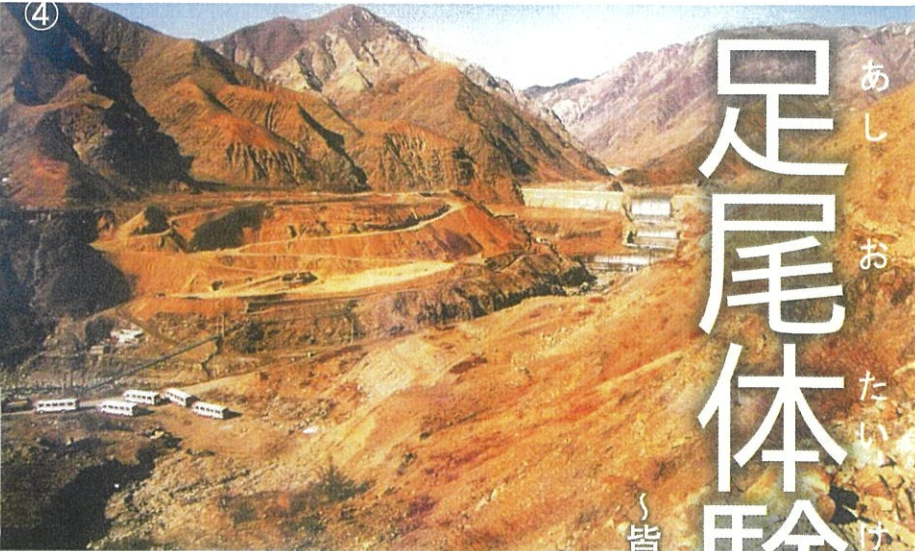
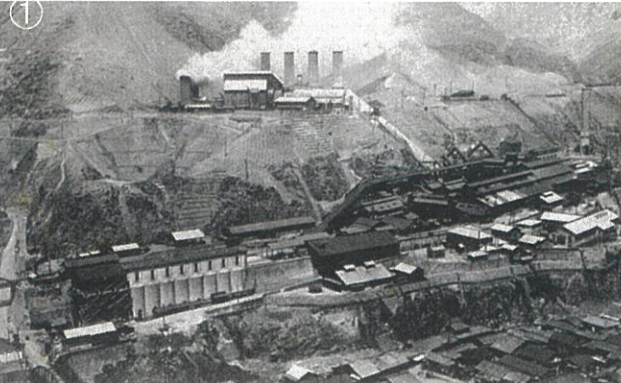


足尾体験植樹ガイド

あしおたいけいじゆ

皆の手で足尾の山々に緑(自然)を取り戻そう



体験植樹に参加して、 環境や砂防について学ぼう！

国土交通省 渡良瀬川河川事務所では、平成5年度より日光市足尾町で体験植樹を実施しています。この体験植樹は、主に小中学生※1を対象とした環境学習支援の一環として行われており、ご参加いただいた皆さんに、この体験を通して、環境の大切さや砂防事業の重要性について理解を深めていただくことを目的としております。

※1:小中高生限定ではなく、大学生や成人の団体様からのお問い合わせも受け付けております。

○体験植樹の背景

足尾の緑が消えた理由

渡良瀬川の上流に位置する足尾町は、かつて銅山の町として栄えました。最盛期には日本の銅の4割を生産し、栃木県では宇都宮に次ぐ大きな町でした。しかし、その繁栄の影で、足尾の山々は荒れ果てていったのです。坑木のための伐採や相次ぐ山火事、精錬所から排出される亜硫酸ガスによる煙害などが、主な原因でした。荒れ果て、脆くなった山々は、渡良瀬川に土砂災害や下流域への洪水などの被害をもたらす一因となったのです。



昭和62年の大畑沢

植樹と砂防の深い関係

土砂災害を防ぐための対策として、渡良瀬川の上流域では、さまざまな砂防事業が行われてきました。昭和29年に完成した足尾砂防堰堤は、500万 m^3 （東京ドーム約4杯分）の土砂を貯めることができ、下流域への土砂災害の被害を軽減する大切な役割を担っています。また、荒廃し崩れやすくなった足尾の山々には、山腹工（基盤整備）が実施されています。体験植樹を実施する場所は、安全面を考慮し、山腹工を整備した場所を選んでおります。さらに、皆さんが体験される植樹は、植えた苗木が大きく育ち、根を張ることで山肌を崩れにくくするという、砂防事業としての一面を担っています。



大畑沢の山腹工

NPO法人「足尾に緑を育てる会」との連携

NPO法人「足尾に緑を育てる会」では、「足尾の山に100万本の木を植えよう!!」を合言葉に、毎年「春の植樹デー」と題して、大規模な植樹活動を展開しています。また、団体及び個人・家族・少人数グループを対象とした独自の体験植樹も行っています。

国土交通省では、基盤整備が完了している山腹工を植樹場所として提供するなど、さまざまな形で連携を図っています。こうした官民協働の活動は、大変注目を集めています。

申込や詳細の確認はこちらの公式HPから▶



1996年5月にはじめて植樹を実施して以来、植樹活動の輪が広がり、おかげさまで参加者、植樹本数とも年々増えていきます。

私たちは、活動を継続していくことが重要だと考えています。

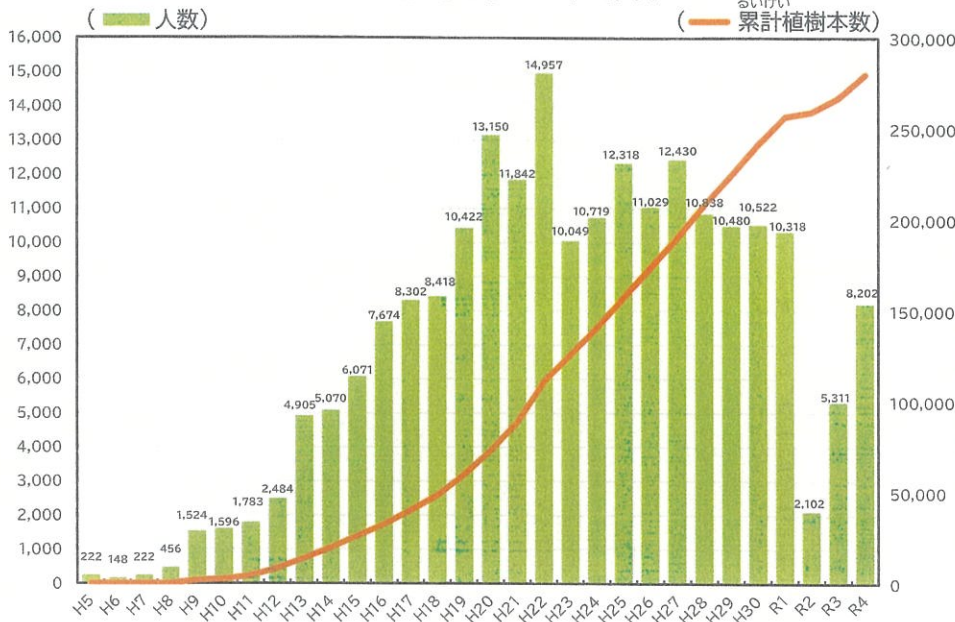
特に未来を担う若い世代や子供たちには、積極的に活動に参加していただき、私たちの思いを受け継いでいってほしいと願っています。



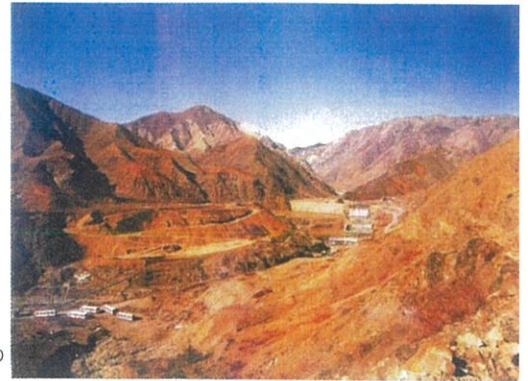
現在までに21万人が 体験植樹に参加！

平成5年度から始まった体験植樹は、令和4年度までに、213,000名の方にご参加いただき、280,000本を植樹しました。
多くの皆様のご尽力により、徐々に緑を取り戻してきた足尾の山々。現在、荒廃した山腹の約50%まで緑が回復したとも言われております。皆様が植えられる一本一本の苗木が、やがて大きく育ち、足尾の山を緑豊かな未来への姿へと再生させていくのです。

体験植樹参加人数



※NPO法人「足尾に緑を育てる会」が主催する体験植樹の実績を含んでいます。



昭和52年の足尾砂防堰堤周辺



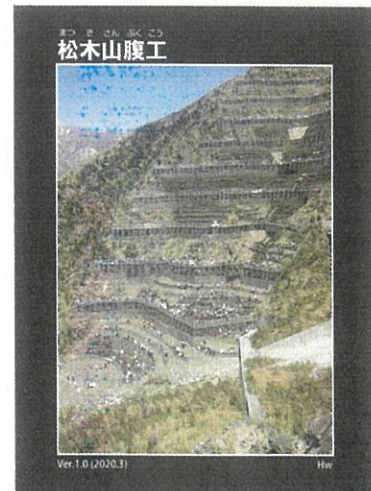
令和3年の足尾砂防堰堤周辺

SABOカード配布中！



①足尾砂防堰堤

足尾砂防堰堤は渡良瀬川上流の仁田元川、松木川、久蔵川の三川が合流する直下に、流出土砂の抑制と河床の安定を目的として計画されたものです。足尾砂防堰堤の特徴は、500万 m^3 の貯砂量。日本最大級の規模を誇ります。二ホンカモシカの壁画は地域のモチーフです。



②松木山腹工

山腹工とは山の斜面崩壊を防ぐため、斜面を柵や壁で階段状に整備して斜面の崩れを抑える土留工と、さらに土が流れ出さないよう草木を植える緑化工を行い、安定した山肌に戻す工事のことです。NPO法人「足尾に緑を育てる会」と官民連携で緑化活動を行っております。

体験植樹の流れ

体験植樹が実施される場所は、渡良瀬川の最上流域に位置し、気候、地形ともに大変厳しい場所です。安全に楽しく植樹を体験していただくために、体験植樹の流れ、体験植樹に必要なもの、注意事項等をよくご理解いただいた上でご参加ください。体験植樹は、全工程で約1時間半程度かかります。



スタート

作業道具を運んで
いよいよ植樹スタート！

はじめに、オリエンテーション(30分程度)を行います。



1.国土交通省から砂防事業の説明



2.紙芝居による足尾の歴史等の説明



3.植樹の作業手順の説明

あなほ 穴掘り

1



直径約70cm、
深さ約50cmの穴を掘ります。



穴の中に、黒土、堆肥を入れます。

なえぎ せつち 苗木設置

2



ワイヤーで添え木同士を固定します。



苗木が倒れないよう、
添え木を3本打ち込みます。

4 さく 柵づくり

4



ネット設置前に記念撮影を行います。



しか
鹿よけネットを設置します。
(食害防止ネット)

5 ネーム プレート設置

5

体験植樹に必要なもの

- ・水筒
- ・雨合羽
- ・帽子
- ・タオル
- ・軍手
- ・運動靴
- ・汚れても良い服
- ・ネームプレート

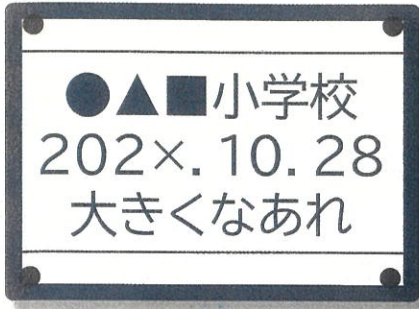
- ・土
- ・肥料
- ・苗木
- ・スコップ
- ・バケツ

参加者各自で用意するもの

国土交通省で用意するもの

オリジナルネームプレートをつくろう！

植樹した苗木には、オリジナルネームプレートを設置することができます。



■ネームプレートの設置を希望される場合は、当日ご持参ください。

■大きさは、最大でA4版までとなります。

■団体名・実施日・メッセージなど、自由に書き込んでください。

作業時の注意事項

- 1 作業等は、各自の責任のもと行っていただきますので、十分ご注意ください。
- 2 10人1グループとして、グループあたり1本の苗木を植樹していただきます。
- 3 作業には工具を使用するため、事前に注意説明を行います。
- 4 足場が不安定な所があるため、スタッフの指示に従って行動してください。



土を踏み固めて苗木に、腐葉土を入れます。



幹を傷めないように気をつけながら、苗木に苗木を設置します。その上から腐葉土、黒土を入れます。



掘り出した石や土を使って堤防を作り、その中にバケツ2杯分の水を入れます。

3 水やり



ネームプレートを持参された団体は、植えた苗木に取り付けます。

作業終了！

使った道具を片付けて、作業終了です。



終了の挨拶最後に感想や質問などを伺います。

お申し込み方法

- 1 お電話にて希望日時をご予約ください。ご予約いただいた方には、こちらから関係書類をお送りします。
- 2 詳細が決まりましたら、こちらから送付した書類に必要事項をご記入の上、内容確認のため足尾砂防出張所までFAXしてください。その後、申請書に代表公印(学校の場合は学校長印)を捺印し、足尾砂防出張所宛てに、実施日の3週間前までにご郵送ください。
- 3 申請書到着後、こちらより体験植樹に関する資料をお送りします。
- 4 当日の植樹作業をスムーズに行うために、お送りした資料を参考に事前学習をお願いします。

お申し込み時の注意事項

- 参加者の費用負担は特にございませんが、現地までの交通費、食事等は各自負担をお願いします。
- 個人の方のお申し込みはご遠慮いただいておりますのでご了承ください。(対象は団体のみとなります。)
- 受付は原則1日2団体となりますので、お早めにご予約ください。
- 植樹本数は、原則約10人あたり1本としています。
- マスクの着用やアルコール消毒等の感染拡大防止にご協力をお願いします。
- 事故等について、国土交通省では一切責任を負えません。参加団体各々にて、保険加入等ご検討いただきますようお願いいたします。



▶ 体験植樹申込等の詳細はこちらのWEBページをチェック。

申請書の様式例

別紙-1

令和〇〇年〇〇月〇〇日

国土交通省 関東地方整備局
渡良瀬川河川事務所 様

〇〇県〇〇市立〇〇小学校
校長 〇〇 〇〇 様

足尾における体験植樹について(申請)

標記について、下記のとおり貴事務所管内の山林に植樹したいので申請します。
なお、国土交通省が提示した注意事項については同意いたします。

記

1. 目的 (具体的に植樹の趣旨を記入してください)
2. 日時 令和〇〇年〇〇月〇〇日(〇) 〇〇:〇〇から 〇〇:〇〇まで
3. 場所 渡良瀬川河川事務所 足尾砂防出張所管内の山林
4. 申請団体 団体名 〇〇県〇〇市立〇〇小学校
住所 〒 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇
担当者 〇〇〇〇
電話 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
FAX 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

※ ゲート開閉の都合上、当日担当者の連絡先(携帯電話など)を必ずご記入下さい。
当日連絡先 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

5. 体験者 〇年生、クラス数、生徒〇〇名、職員〇名
6. 車両台数 大型・中型バス〇台
7. 内容 苗木〇本植樹
8. その他 工事用道路の通行に伴い発生した事故、トラブル、損害等に関しては、申請者にて全て責任を持ちます。

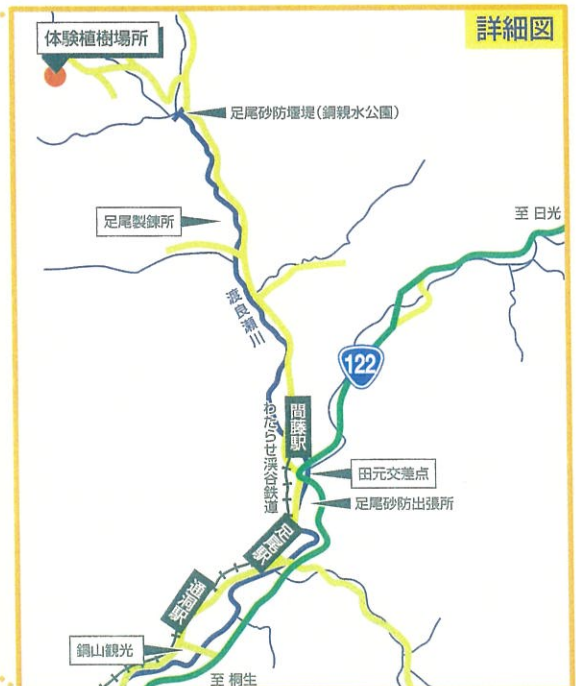
アクセス

東北道をご利用の場合...

- 1 岩舟JCT-北関東自動車道-太田桐生IC-国道122号
- 2 宇都宮IC-日光宇都宮道路-清瀬IC-国道122号

関越道をご利用の場合...

- 1 高崎JCT-北関東自動車道-太田桐生IC-国道122号
- 2 沼田IC-国道120号-国道122号



お問い合わせ先

国土交通省 渡良瀬川河川事務所 足尾砂防出張所
〒321-1513 栃木県日光市足尾町向原5-17
TEL 0288-93-2151
FAX 0288-93-4087

表紙写真の紹介

- ①足尾精錬所
- ②足尾砂防堰堤(昭和30年)
- ③春の植樹デーの様子
- ④足尾砂防堰堤周辺(昭和52年)
- ⑤足尾砂防堰堤の全景
- ⑥非越流堤(ひえつりゅうてい)に描かれたカモシカ